

昭和二十四年六月一日運轉  
昭和二十六年十一月廿五日印刷  
（毎月一回発行）  
1 採認雑誌第四五三號

# 哲學研究

第三十五卷 第六册

第四百四號

昭和二十六年十一月三十日發行

實存哲學、ニーチェの哲學、  
西田哲學、  
—— 歴史的唯物論の意味の探究のために ——  
武市健人

個體性の問題(完) : : : : :  
金子榮一

—— ナートルの研究 ——

グラープマンとジルソン (高田三郎)

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
- (一) 毎月一回研究会を開く
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年八〇〇圓、又は半年四〇〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

## 京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎	白井二尙	上野照夫	重澤俊郎	下程勇吉	島芳夫	關原太郎	高田三郎	武内義範	田中美知太郎	長尾雅人	野田又夫	松尾義海	三村勉	矢田部達郎	山内得立	井島勉
-------	------	------	------	------	-----	------	------	------	--------	------	------	------	-----	-------	------	-----

その思想とは、「一切の相對的な個體と社會との絕對的根柢」は、眞の個體 (echte Individualität) であると同時に究極の社會 (letzgültige Gemeinschaft) である超限者の中に存在するといふ考へである。(Iud. u. Sem. S. 24. 参照。) この「一切の精神が一切に共通する (ein Geist allen gemein)」といふ考へ、すなはちあらゆるものは究極の根柢にありて一であるといふ思想が如何なる意味をもつか。——これはのちの力量ある思想家が明らかにしてくれることであらう。

(完)

註(一) G. Simmel, Lebensanschauung, 1918, 4. Kap. Das individuelle Gesetz. 参照。なほこの問題に關しては、同じくシメルの Kant, 5. Aufl. 1921, S. 142, 156, 163 等を参照せられたる。

### 謹 告

京都大學名譽教授 學士院會員 朝永三十郎博士には本會の創設以來多年に互つて本會のため御盡瘁下さいましたが 去る九月十八日京都の御自宅にて急逝せられました まことに痛惜に耐えません ことに謹んで哀悼の意を表します

京 都 哲 學 會

Beantwortungen seiner wissenschaftlichen Werke. München, 1935)を書いた。後者の研究はプラトンの『ティマイオス』篇の中世への影響についての關心を浮び上がらせ、かくしてグラブマンはスコラにおける『ティマイオス』諸註釋に關する獨立の論文を企畫したが惜しくもこれは執筆に至らなかつた。シャルトルの Guilelmus の名を冠する Microcosmographia といふ自然科學的論文の校訂本は、書かれずに終つた序説を缺いたまゝトロンで刊行される。

アルベルツスに發する獨逸スコラのネオプラトニスム的潮流も彼の關心の對象となつてをり、スコラ的ネオプラトニスムの源泉たるプロクロスや僞ディオニュシオス書も彼の研究から逸せられてゐない。

フランシスカンの諸哲學者特に十四世紀以後のそれは殆ど完全に彼の研究の埒外にある。これは前述のごとき彼の研究の性格と徑路からみて當然の制約ともいふべきであらう。

概觀的な初學者向きの手堅い『中世哲學史』が『Sammlung Göschen』の一書として世に送られてゐる(一九二二)。更に詳細な通史を『Philosophische Handbiichok』のために約束してゐたがこれは遂に果しえないで終つた。

グラブマンの著作總目錄は『中世精神生活』の第三卷に掲げられることが豫告されてゐる。(未完)

### 執筆者紹介

武市健人	神戸大學文理學部(哲學)教授
金子榮一	東京女子大學文學部(社會學)講師
高田三郎	京都大學文學部(西洋哲學史)教授

前 號 目 次

自立心交の教育……………	下程 勇吉
— 吉田松陰の教育 —	
個性性の問題……………	金子 榮一
— ナートルの研究 —	
危機神學の生成とその展開(承前)	樋元 和一
— 近世前期フランス精神史論 —	

又意味を失わぬ。何故なら、神の「善意」は、判断誤謬に對する人間の注意責任を無用にするのではなく、寧ろ、誤謬の責任は常に人間にあり、「善意」を見出すのは、自由意志の使用如何によるからである。その限り *natura deest* に對する「懷疑」は、尙意味をもつ。然し *natura deest* は、日常生活に於いて、身體保全に有益な積極的效用を持つてゐる。だが、「情念處理」を説くデカルトは、此處に於いても矢張り *natura deest* を警戒することを忘れない。——「自然的なるもの」に對する不自然な程の注意、之が、眞善に出来るだけ近づく爲の、デカルトの「方法的懷疑」である。

心理學讀書會

五月廿五日

「精神作業に於ける Blocking Phenomenon に就いて」

六月一日

野村 昭

「人格に於ける硬さについて」

岡本夏木

六月八日

「幼児の空間知覺の發達について」

生澤雅夫

「繪畫とパーソナリティ」

廣田 實

次 號 號 告

(十二月廿日發行豫定)

轉換の論理……………	長 尼 雅 人
實存哲學、ニーチェの哲學、	
西田哲學(完)	武 市 健 人
— 歴史的唯物論の意味の探求のために —	
危機神學の生成と	
その展開(完)	樋元 和一
— 近世前期フランス精神史論 —	

# 會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお拂込下さい  
 「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
- 一、前金切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
- 一、會員の轉居入退會等(編集事務以外的一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學  
文學部内 京都哲學會

## 註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にてお送り下さい
- 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十六年十一月廿五日印刷  
昭和二十六年十一月三十日發行

編 集 人

京 都 哲 學 會  
京都大學文學部内

右 代 表 者

三 村 勉

發 行 人

酒 井 明

印 刷 人

鈴 鹿 幸 保  
京都市田中西浦町四〇

印 刷 所

弘 文 堂 印 刷 部  
京都市田中西浦町四〇

發 行 所

株 式 會 社

弘 文 堂

東京都千代田神田駿河臺四ノ四

定 價		冊 數	定 價	郵 稅
冊	冊			
一	冊	七十圓	金八圓	
六冊(前金)		四百二十圓	金四十八圓	
十二冊(前金)		八百四十圓	金九十六圓	

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

昭和二十六年十一月二十五日發行(每月一回)

# THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XXXV

November, 1951

No. 6

---

---

*The Philosophy of Existence, Nietzsche and Nishida.*

*Reflections on the Meaning of Historical*

*Materialism* (I) ..... Tatehito Taketi

*The Problem of Individuality. A Study on*

*Natorf* (II) ..... Eiichi Kaneko

*Grabmann and Gilson* (I) ..... Saburo Takada

Published Monthly

By

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價  
金七〇圓